

刑事の記憶 シリーズ

- ◆ 刑事の記憶 昭和・平成
- ◆ 刑事の記憶II 半落ち
- ◆ 刑事の記憶III 不在証明(アリバイ)

島 二郎
(しま じろう)

1950年生まれ、熊本県出身。
九州大学法学部卒業。熊本県在住。弁護士。



四六判・並製・304頁・定価(本体1,500円+税)
ISBN : 978-4-286-23841-8



四六判・並製・292頁・定価(本体1,500円+税)
ISBN : 978-4-286-25089-2



四六判・並製・340頁・定価(本体1,500円+税)
ISBN : 978-4-286-25646-7

刑事の記憶 昭和・平成

山深いフィッシングパークで起きた転倒死亡事故。でも、被害者には多額の保険金が掛けられていた。阿蘇外輪山麓の小さな温泉街で起きた難事件に、脛に傷もつWakeあり刑事が挑む。昭和・平成という熱い時代を駆け抜けた刑事達と、彼らを取り巻く人間模様、罪に落ちていく人間の黒い欲望と悲哀、そしてその心の救いを骨太に描いた極上のミステリー。

刑事の記憶II 半落ち

春のある日、若い女性の他殺体が発見される。被害者女性は27歳の未亡人。その下腹部には、包丁が深く突き立てられていた。捜査上に浮上する容疑者の男たちと、次第に浮き彫りにされる被害者女性の生き様。そしてついに真実が明かされたはずであったが……。昭和・平成という時代を駆け抜けた熱い刑事たちの活躍を描いた「刑事の記憶」の第2弾。心の深淵をえぐる極上のミステリー。

刑事の記憶III 不在証明(アリバイ)

町議会議長選絡みの贈収賄事件の捜査中に起きた資産家夫婦殺害事件。捜査とともに、被害者男性の非道で吝嗇な性格が次第に浮き彫りにされていく。一方、被害者女性には男性の影が……。妬心、怨恨、邪恋が幾重にも絡み合った事件は、さらなる変容を見せていき。昭和・平成という時代を駆け抜けた熱い刑事たちの活躍を描いた「刑事の記憶」の第3弾。胸を揺さぶられる極上のミステリー。